

広島市（広島県）

（１）事業実施期間

平成 22 年 6 月 4 日（金）から平成 22 年 6 月 11 日（金）まで

（２）運営スケジュール

貸与期間中、図表-1のようなスケジュールでイベント等を開催し、貸与された燃料電池自動車を活用し、市民等への普及啓発に努めた。

図表-1 運営スケジュール（広島市）

日程	内容
6月 4日（金）	・車両搬入
5日（土）	・広島市交通科学館での出前環境講座
6日（日）	・環境の日ひろしま大会での展示
7日（月）	・水素充填
8日（火）	・広島市工業技術センターでの試乗会
9日（水）	・公用車として事務連絡に使用
10日（木）	・公用車として事務連絡に使用
11日（金）	・車両搬出

(3) 実施内容

① 展示及び試乗会

期間中に図表-2のような内容で、展示・試乗会を実施し、30名の体験試乗、70名の体験同乗、計100名の乗車体験があった。

図表-2 体験運転・同乗者の概要

実施日	概要	対象者	運転者数	同乗者数
6/5	展示（交通科学館）	一般市民	展示のみ	
6/6	展示（環境の日ひろしま大会）	一般市民	展示のみ	
6/8	展示・試乗（工業技術センター）	企業・大学	30	70
合計			30	70

※運転及び同乗ともに体験した者は、運転者数だけにカウントしている。

② 展示・体験試乗会

○展示会（交通科学館での出前環境講座）

実施日：平成22年6月5日（土） 場所：広島市交通科学館 対象：一般市民（交通科学館の来場者）

※出前環境講座で、「地球温暖化と未来の車」という題で講座をした。

また、車から出る排気で二酸化炭素の濃度実験をし、水蒸気しか出さないクリーンな自動車であることを啓発した。

○展示会（環境の日ひろしま大会）

実施日：平成22年6月6日（日） 場所：広島県庁 対象：一般市民（来場者）

※環境の日ひろしま大会において来場者向けに展示をした。

○試乗会（工業技術センター）


実施日：平成22年6月8日（火） 場所：広島市工業技術センター 対象：水素エネルギーに関心のある企業・大学等

(4) 事業の周知方法

体験試乗会やイベント等についての参加募集は次の媒体を通じて、事前に周知を行った。

① ホームページで利用方法等について紹介した。

ホームページでの紹介内容




The screenshot shows the Hiroshima City website with a navigation menu and a main content area. The main content area is titled '燃料電池自動車がやってきました' (Fuel Cell Vehicle has arrived) and contains the following information:

1 経緯

温室効果ガスを排出しない燃料電池自動車の普及啓発を図るため、環境省の「燃料電池自動車啓発推進事業」に応募した結果、本市の「環境の日」ひろしま大会での展示案が採用され、燃料電池自動車を借り受けることになりました。

2 借り受ける車両

車名	本田技研工業(株) FCXクラリティ
寸法(全長×全幅×全高)	4,845mm×1,845mm×1,470mm
車両重量	1,630kg
乗車定員	4名
駆動方式	前輪駆動
燃料	圧縮水素ガス
タンク容量	171L
貯蔵方式	高圧水素タンク
最高充填圧力	35MPa(約350気圧)
1充填当たり走行距離 (10・15モード走行)	620km



3 借り受け期間

平成22年6月3日(木)から6月11日(金)まで

4 利用方法

(1) 出前環境講座での展示

- 日 時 平成22年6月5日(土) 13:30～16:00
- 会 場 広島市交通科学館
- 主 催 広島市
- 対象者 一般市民(約60人)

(2) 「環境の日」ひろしま大会での展示

- 日 時 平成22年6月6日(日) 10:00～16:00
- 会 場 広島県庁前広場
- 主 催 「環境の日」ひろしま大会実行委員会
(広島県、広島市、ひろしま地球環境フォーラム、㈲広島県環境保全公社、㈲広島県環境保健協会)
- 対象者 一般県民(約15,000人)

② 試乗会について報道資料として提供した。

報道資料

Press Release —報道資料—

 広島市 City of HIROSHIMA

平成 22 年(2010 年)5 月 26 日(水)

問合せ 経済局産学官技術振興課 課長：伊藤

電話：504-2644 内線：3460

燃料電池自動車展示・試乗会開催のお知らせ

広島地域の水素エネルギーに関心をお持ちの企業や大学、自動車関連部品メーカーなどを対象とした、燃料電池自動車展示・試乗会を下記のとおり開催します。

記

1 日 時：平成 22 年 6 月 8 日(火) 13:30~17:00

2 場 所：広島市工業技術センター
広島市中区千田町三丁目 8 番 24 号
<http://www.itc.city.hiroshima.jp/level7/1030100001.html>

3 費 用：無料

4 内 容：
【イベント①】13:30~17:00

「燃料電池自動車展示・試乗会」

ホンダ・クラリティーがやってきます。

構内での運転・試乗(同乗)ができます。(ただし、運転は先着 30 名とします。)

会場整理の都合上、事前に申し込みが必要です。

【イベント②】14:00~14:20、15:00~15:20、16:00~16:20

「燃料電池の動作実験」

水素ガスにて実物の燃料電池を動作させます。

【イベント③】14:20~15:00、15:20~16:00、16:20~17:00

「燃料電池に関するビデオ上映」

燃料電池に関するビデオを 3 回上映します。

5 主 催：広島市、公益財団法人ひろしま産業振興機構

6 協 力：水素エネルギー利用開発研究会、財団法人広島市産業振興センター

7 申込先：広島市経済局産学官技術振興課 担当：岡本、林
広島市中区国泰寺町一丁目 6 番 34 号
電話：082-504-2326 FAX：082-504-2259 Eメール：sangaku@city.hiroshima.jp

会場内の駐車場は狭いので、なるべく公共交通機関を利用してご来場ください。

Press Release

 広島市 City of HIROSHIMA

(5) 利用の様子

○交通科学館での出前環境講座



○環境の日ひろしま大会



○工業技術センター試乗会



(6) 報道実績

6月8日（火）に広島市工業技術センターで行われた試乗会について、以下のとおりテレビで報道された。

○NHK

二酸化炭素などを含んだ排気ガスを出さずに走る燃料電池車の利点を知ってもらおうと、企業や大学の研究者などを対象にした試乗会が8日、広島市で開かれました。燃料電池車は、燃料として積んだ水素と空気中から取り入れる酸素を化学反応させることで電気をおこし、モーターを動かして走る車です。

ガソリン車のように二酸化炭素などを含んだ排気ガスを出さず、電気自動車のように外部からバッテリーに長時間充電する必要もありません。

8日の試乗会は、次世代のエコカーとして期待される燃料電池車の利点を知ってもらおうと、広島市などが主催し、広島県内の大学や自動車部品メーカーから研究者など約100人が参加しました。

試乗に使われた燃料電池車は、見かけは、普通の乗用車とほとんど変わりませんが、車の後ろに排気ガスを出すマフラーがなく、水蒸気が出る穴があるだけです。

参加した人たちは、交代で燃料電池車に乗り込み「乗り心地はいいですね」などと話していました。広島市の担当者は「きょうの試乗会がきっかけとなって、広島市での水素関連産業が広がってほしい」と話していました。

○テレビ新広島

高い環境性能で注目を集める燃料電池自動車を広島市が環境省から借り受け、自動車部品メーカーや大学などを対象とした試乗会を開きました。

試乗会で使われた燃料電池自動車は自動車メーカー・ホンダが開発したもので、車体の中央に酸素と水素を化学反応させ電気を作り出す燃料電池を搭載しています。

車は燃料電池で作った電気でモーターを駆動させ走り、有害な排気ガスを出さず、排出されるのは水だけです。試乗会では自動車関連の部品メーカーや大学などの関係者およそ80人が燃料電池自動車へ乗り込み、最新の低公害車の性能を確かめていました。

燃料電池自動車は高額なことから、日本国内では現在、法人向けのリース販売のみとなっていて、低価格化や動力源の水素を供給するインフラ整備が、普及のカギを握りそうです。